

平成 24 年度 第 2 回 医療機器ニーズ探索交流会 報告

1. はじめに

福祉ロボットに関する講演として、CYBERDYNE 社の「ロボットスーツ HAL 福祉用」開発に関する説明と具体的共同開発テーマ提案をしていただき、大分県下の医療機器開発希望する企業とのマッチングを目指して検討を行います。

研究会会員企業の皆様、医療機器産業への参入をご検討されている企業の皆様 約 40 名のご参加を頂き、講演会と活発なニーズマッチング研究会を開催出来ました。

CYBERDYNE 社から開発ニーズのご紹介をし、研究開発に興味があり、産学交流グループに参画する企業を募集致します。

2. 開催要領

- (1) 主催 国立大学法人 大分大学 産学官連携推進機構
- (2) 日時 平成 25 年 1 月 31 日 (木) 15:00~19:00
- (3) 会場 レンブラントホテル大分 久住の間 (大分市田室町 9 番 20 号)
- (4) 講演 15:05~16:35

「ロボットスーツ HAL 福祉用に関する展望と連携 –共同開発を目指して–」

【講師】CYBERDYNE 株式会社 営業戦略部長 久野孝稔

- (5) ニーズマッチング研究 16:45~19:00
- (6) 対象者 医療産業新規参入研究会会員企業及び支援機関関係者

3. 講演会・ニーズマッチング研究の概要

- (1) HAL 福祉用のご講演

図 1 講演会 風景



図 2 HAL の説明



(2) 開発ニーズ

① トレッドミル関連

(トレッドミル：屋内でランニングやウォーキングを行う為の健康器具 吊り上げ装置)

- ・ 設計 (メカ)、材料・加工 (金属、樹脂)、塗装・コーティング
- ・ 制御、モーター、ベルト
- ・ 通信、製品デザイン

② 衣服関連

(衣服：ウエットスーツのような身体密着型)

- ・ 素材、デザイン、設計、裁断、縫製 ・電極を付けて

③ 屋外搬送用ロボット関連事業体

(ロボット：床への投影40cm 角程度の小型)

- ・ 設計 (メカ)、材料・加工 (金属・樹脂) 塗装・コーティング
- ・ 制御、センサー、モーター、ベルト/車輪
- ・ 通信、製品デザイン
- ・ 見守りシステム 搬送用や屋外用

④ その他

製品の最終形ではなく、開発ニーズとして挙げられる技術を挙げる。

- ・ 硬質透明版 (7~8mm) にて、テーブル型のスマートフォンイメージ
- ・ 電磁シールド性の高い樹脂カバー
- ・ ソフトサポーター類

⑤ 他の案件

- ・ 小型軽量 50万円
- ・ HAL F9T 脳血管障害、緊縮、
- ・ 医療ツーリズム 5日間 85,000円 タイ・シンガポール
- ・ 脳卒中後 手術後にHALを用いて、脳のシナプスを作る
- ・ 単脚 自動プログラムが必要
- ・ 片足や両足のない人への応用
- ・ 250kgを持ち上げる
- ・ 人の身体活動が図式化できる一データ保存
- ・ バイラルセンサー 全てが分る 何を見ているか
- ・ クリーニングシステム
- ・ 経済産業省 ロボット技術、セラピスト、運搬支援、農業支援
NASA
- ・ 足の変形した場合 オーダーメイド

(3) 今後の展開

産業創造機構に研究会を作り(2)を推進する。